

作成日 2018年01月29日
改定日(R-4) 2024年11月20日

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品情報

製品名 ハイコアプラス
整理番号 12075282
推奨用途及び使用上の制限 溶剤希釈型防錆潤滑剤

会社情報

会社名 日本エヌ・シー・エイチ株式会社
住 所 東京都町田市南成瀬1-2-2 5F
担当部署 管理・技術センター技術・品証課
電話番号 0120-571511

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 : 区分2
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2
生殖細胞変異原性 : 区分2
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2 (呼吸器、肝臓、腎臓)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2 (肝臓、精巣、肺、皮膚)
誤えん有害性 : 区分1
水生環境有害性-短期間(急性)有害性 : 区分2
水生環境有害性-長期間(慢性)有害性 : 区分3

GHS ラベル要素



危険

危険有害性情報

- ・H225: 引火性の高い液体および蒸気
- ・H315: 皮膚刺激
- ・H319: 強い眼刺激
- ・H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・H351: 発がんのおそれの疑い
- ・H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・H371: 臓器(呼吸器、肝臓、腎臓)の障害のおそれ
- ・H335: 呼吸器への刺激のおそれ
- ・H336: 眠気およびめまいのおそれ
- ・H372: 長期にわたる、または反復ばく露により臓器(呼吸器系)の障害
- ・H373: 長期にわたる、または反復ばく露により臓器(肝臓、精巣、肺、皮膚)の障害のおそれ
- ・H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・H401: 水生生物に毒性
- ・H412: 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・P202: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・P210: 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。
- ・P233: 容器を密閉しておくこと。

- ・P240：容器を接地すること/アースをとること。
- ・P241：防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
- ・P242：火花を発生させない工具を使用すること。
- ・P243：静電気放電に対する予防措置を講じること。
- ・P260：ミスト/蒸気を吸入しないこと。
- ・P264：取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・P270：この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・P271：屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・P273：必要な時以外は環境への放出を避けること。
- ・P280：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・P303+P361+P353：皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
- ・P370+P378：火災の場合：消火に適切な手段を使用すること。
- ・P302+P352：皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- ・P332+P313：皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
- ・P362+P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
- ・P308+P313：ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
- ・P308+P311：ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・P312：気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・P314：気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- ・P301+P310：飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- ・P331：無理に吐かせないこと。
- ・P101：医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

【保管】

- ・P403+P235：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・P405：施錠して保管すること。
- ・P403+P233：換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・P102：子供の手の届かないように保管すること。

【廃棄・その他】

- ・P501：内容物/容器を定めるところに従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名または一般名：溶剤希釈型防錆潤滑剤

成分名	質量%	官報整理番号	CAS No.	備考
アスファルト	30～40	9-1720	8052-42-4	既存化学物質または名称公示済みである
石油ナフサ	27.9	9-1702	64742-88-7	既存化学物質または名称公示済みである
鉱油	10～20	9-1692	64741-88-4 64742-54-7	既存化学物質または名称公示済みである
ミネラルスピリット	11.4	9-1700	64742-47-8	既存化学物質または名称公示済みである
ノナン	1.2	2-9	111-84-2	既存化学物質または名称公示済みである
エチルグリコールモノエーテル	0.991	2-2424 2-407 7-97	111-76-2	既存化学物質または名称公示済みである
トリス(N,N-ジベンチルアセチルアミド)アンチモン酸	0.75	2-2889	15890-25-2	既存化学物質または名称公示済みである
キシレン	0.70	3-3 3-60	1330-20-7	既存化学物質または名称公示済みである
エチルベンゼン	0.30	3-28 3-60	100-41-4	既存化学物質または名称公示済みである
ビス(2-エチルヘキシル)リン酸=O, O-ジ (2-エチルヘキシル)	0.11	2-2949	72030-25-2	既存化学物質または名称公示済みである

記載のない成分は、危険有害性区分に寄与せず、国内法令によって情報伝達が求められる物質ではない。SDS 交付義務対象物質である成分について、より詳細な組成情報が必要な場合、秘密保持契約締結の上、詳細な組成、成分情報開示書類を別途提出とする。

- ・気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・呼吸の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

- ・直ちに水で洗い流し、石鹸で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

- ・ 清浄な水で最低 15 分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・ コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・ 洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・ 激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

・眼：刺激。皮膚：刺激。吸入：呼吸器を刺激。誤飲：胃腸を刺激。

・データなし。

- ・症状は遅れて発現することがあり、過剰に暴露した場合は、医学的な経過観察が必要である。

- ・消火剤 : 二酸化炭素、乾燥化学粉末、水散布、泡。
- ・使ってはならない消火剤 : 棒状の水。
- ・特定の消火方法 : 消火活動を行う者に火災の場所と有害性を伝える。火災に暴露されている容器を水で冷却する。蒸気は空気より重く、床を這い、使用場所と違った場所で引火することがあるので注意する。
- ・消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を含む適切な保護具を使用する。風上で作業する。

・人体に対する注意事項 保護具及び緊急措置	: 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。 密閉された場所では換気又は送気マスクを使用し作業時には「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を使用する。
環境に対する注意事項	: 漏出物は排水や水源に混入させない。

- ・回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材
: 大量の場合には砂などを用いて囲い、流出を防止し、吸引機等で空容器に回収する。残りをウエス等でよく拭き取る。少量の場合は適切な吸収剤を使用して吸収し、残りをウエス等でよく拭き取る。残分は大量の水で洗い流す。
- ・二次災害の防止策
: 火気、電源等の引火源を止めるとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	: 火気厳禁。消防法第四類第二石油類(非水溶性)。危険等級Ⅲ。 炎、火花もしくは高温体との接近又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。
局所排気装置・全体換気 安全取扱い注意事項	: 取扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で取扱う。 : 暴露防止のため、「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。製品ラベルの注意事項を守って取り扱う。
管理濃度、濃度基準値等 接触回避	: 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。 : 「10. 安定性及び反応性」参照。
保管 技術的対策	: 火気厳禁。消防法第四類第二石油類(非水溶性)。危険等級Ⅲ。 炎、火花もしくは高温体との接近又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。
混触禁止物質 適切な保管条件	: 「10. 安定性及び反応性」参照。 : 火気厳禁。消防法第四類第二石油類(非水溶性)。危険等級Ⅲ。指定数量 1,000 リットル。消防法の定めにより指定数量を超えて保管する場合は、法の定める危険物倉庫に保管すること。なお、自治体の条例により、指定数量の五分の一を超えた量を一カ所に保管する場合は、所管の消防署などに届出が必要である。 火気、熱源より遠ざける。40℃以上の高温を避け、常温屋内保管する。使用時以外は密栓をし、子供の手の届かない所に保管する。 その他関連法の定めるところに従う。
避けるべき保管条件	: 包装、容器の規制はないが、保管時には製品の入っている容器から移し替えない。
廃棄上の注意及び輸送上の注意	: 「13. 廃棄上の注意」、「14. 輸送上の注意」の記載事項を参照。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

成分名	含有量 (質量%)	管理濃度 (安衛法)	許容濃度 (日本産業衛生学会)	濃度基準値 (第577条の2第2項)	ACGIH-TLV
アスファルト	30~40	未設定	未設定	未設定	TWA 0.5mg/m ³ (I)
石油ナフサ	27.9	未設定	未設定	未設定	未設定
鉱油 (ミストとして)	10~20	未設定	3mg/m ³	未設定	5mg/m ³
ミネラルスピリット	11.4	未設定	未設定	未設定	未設定
ノナン	1.2	未設定	200ppm(1050mg/m ³)	未設定 ※2025/10/1より適用 200ppm(8時間)	TWA 200ppm
エチングリコールモノブチルエーテル	0.991	25ppm	(最大許容濃度) 20ppm(97mg/m ³) (皮)	未設定	TWA 20ppm
トリス(N,N-ジベンチル)ホスホニウム トリブチルホスホニウム	0.75	未設定	0.1 mg/m ³ (Sbとして、ジベンチンを除く)	未設定	TWA 0.5mg/m ³ (Sbとして)
キシレン	0.70	50ppm	50ppm (217mg/m ³)	未設定	TWA 100ppm STEL 150ppm
エチルベンゼン	0.30	20ppm	20ppm (87mg/m ³) (皮)	未設定	TWA 20 ppm
ビス(2-エチルヘキシル)ジチオホスホニウム キソチオホスホニウム (モリブデンとして)	0.11 (0.022)	未設定	未設定	未設定	未設定
水酸化カルシウム	0.01~	未設定	未設定	未設定	TWA 5mg/m ³

	<0.1			※2025/10/1 より適用 0.2 mg/m ³ (8 時間)	
その他	残分	未設定	未設定		未設定

設備対策 : 屋内作業場で定常使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置。
 保護具
 呼吸器用の保護具 : 有機溶剤用防毒マスク。緊急時には自給式呼吸器
 手の保護具 : 不浸透性手袋
 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : エプロン、長袖、長ズボン等、スプレーする作業ではフェイスシールド
 その他法令の定める所に従う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
 色 : 黒色不透明
 臭い : 石油臭
 融点/凝固点(°C) : データなし
 沸点又は初留点及び沸点範囲(°C) : 153
 可燃性 : データなし
 爆発限界及び爆発上限界/可燃限界(%) : 下限 : 0.8 上限 : 12.7
 引火点 (°C) : 27 (セタ密閉式)
 自然発火点 : データなし
 分解温度(°C) : データなし
 pH (100%) : データなし
 動粘性率 : 弱粘性
 n-オクタノール/水分配係数 : データなし
 蒸気圧 (21°C-kPa) : 0.39 (2.91mmHg)
 蒸気密度 (AIR=1) : 10.1
 密度及び/又は相対密度 : 0.881
 溶解性 : 水に不溶
 揮発分(重量%) : 77.1
 臭いの閾値 : データなし
 蒸発速度(酢酸ブチル=1) : 0.36
 燃焼性(固体、ガス) : 引火性
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 安定
 危険有害反応性の可能性 : なし
 避けるべき条件 : 裸火、高温面、点火源
 混触危険物質 : 強酸化剤、酸、塩基、ハロゲン化炭化水素、アンモニア、アミン類
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、アルデヒド、ケトン、煙、炭化水素

11. 有害性情報

急性毒性
 経口 : 各成分の LD50 から、ATEmix を算出した(GHS 判定基準による)。これにより混合物として情報がなく分類できない。
 経皮 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 吸入(ガス) : 各成分の分類結果から混合物として分類対象外。
 吸入(蒸気) : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 吸入(ミスト) : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 皮膚腐食性/刺激性 : 各成分の分類結果から混合物として区分 2 とした。
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 各成分の分類結果から混合物として区分 2 とした。
 感受性-呼吸器 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 感受性-皮膚 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 生殖細胞変異原性 : 各成分の分類結果から混合物として区分 2 とした。
 発がん性 : 各成分の分類結果から混合物として区分 2 とした。
 生殖毒性 : 各成分の分類結果から混合物として区分 1 とした。
 生殖毒性 (授乳に対するまたは授乳を介した影響)

- ：各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：各成分の分類結果から混合物として区分 2（呼吸器、肝臓、腎臓）、区分 3（気道刺激性、麻酔作用）とした。
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：各成分の分類結果から混合物として区分 1（呼吸器系）、区分 2（肝臓、精巣、肺、皮膚）とした。
- 誤えん有害性：各成分の分類結果から混合物として区分 1 した。

12. 環境影響情報

- 生体毒性：データなし
- 残留性/分解性：データなし
- 生物蓄積性：データなし
- 土壌中の移動度：データなし
- オゾン層への有害性：分類できない
- その他の影響：引火性液体：区分 2
- ：水生環境有害性-短期間（急性）有害性：区分 2
- ：水生環境有害性-長期間（慢性）有害性：区分 3

13. 廃棄上の注意

- ・残余物の廃棄の際は下水、環境中にそのまま放出しない。
- ・おがくず等に混ぜて少量ずつ焼却処理するか、産業廃棄物処理業者に委託する。
- ・その他環境、廃棄物関連法規に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号、国連分類：UN1268, クラス 3, 石油蒸留物又は石油製品, n. o. s., 容器等級Ⅲ
- 国内規制：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 特別の安全対策
- ・ 7 項、15 項の記載事項を参照のこと。
 - ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 - ・ 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
 - ・ その他法令の定める所に従う。

15. 代表適用法令

- 化審法：特定化学物質：該当せず
- 毒物劇物取締法：毒物、劇物：該当せず
- 消防法：危険物：第四類第二石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ
- 労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則：第 3 種有機溶剤等
- 政令番号第 54 号 ミネラルスピリット(ミネラルナフ、ペトロリウムスピリット、ホトスピリット及びミネラルペンを含む。)
- 政令番号第 51 号 石油ナフサ
- ：特定化学物質障害予防規則：該当せず
- ：変異原性が認められた既存化学物質
- ：該当せず
- ：がん原性物質：該当せず
- ：皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質
- ：アスファルト(ストレートアスファルト)
- ：キシレン
- ：通知対象物質：政令番号第 11 の 3 号 アスファルト
- (令和 7 年度以降、政令番号第 40 号 アスファルト)
- ：政令番号第 168 号 鉱油
- (令和 7 年度以降、政令番号第 581 号 鉱油)
- ：政令番号第 551 号 ミネラルスピリット(ミネラルナフ、ペトロリウムスピリット、ホトスピリット及びミネラルペンを含む。)
- (令和 7 年度以降、政令番号第 1972 号 ミネラルスピリット(ミネラルナフ、ペトロリウムスピリット、ホトスピリット及びミネラルペンを含む。))
- ：政令番号第 330 号 石油ナフサ
- (令和 7 年度以降、政令番号第 1142 号 石油ナフサ)

- : 政令番号第 432 号 ノナン
(令和 7 年度以降、政令番号第 1515 号 ノナン (アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第 79 号 エチング[®]リコールモノノルマルブチルエーテル
(別名ブチルセソルブ[®])
(令和 7 年度以降、政令番号第 266 号 エチング[®]リコールモノノルマルブチルエーテル (別名ブチルセソルブ[®]))
- : 政令番号第 38 号 アンチモン及びその化合物
(令和 7 年度以降、政令番号第 5 号 アンチモン及びその化合物)
- : 政令番号第 136 号 キシレン
(令和 7 年度以降、政令番号第 426 号 キシレン)
- : 政令番号第 70 号 エチルベンゼン
(令和 7 年度以降、政令番号第 247 号 エチルベンゼン)
- : 政令番号第 603 号 モリブデン及びその化合物
(令和 7 年度以降、政令番号第 31 号 モリブデン及びその化合物)
- : リスクアセスメント物質 : 政令番号第 11 の 3 号 アスファルト
(令和 7 年度以降、政令番号第 40 号 アスファルト)
- : 政令番号第 168 号 鉱油
(令和 7 年度以降、政令番号第 581 号 鉱油)
- : 政令番号第 551 号 ミネラルスピリット(ミネラルナフ、ペトロリウムスピリット、ホトスピリット及びミネラルターペンを含む。)
(令和 7 年度以降、政令番号第 1972 号 ミネラルスピリット(ミネラルナフ、ペトロリウムスピリット、ホトスピリット及びミネラルターペンを含む。))
- : 政令番号第 330 号 石油ナフサ
(令和 7 年度以降、政令番号第 1142 号 石油ナフサ)
- : 政令番号第 432 号 ノナン
(令和 7 年度以降、政令番号第 1515 号 ノナン (アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第 79 号 エチング[®]リコールモノノルマルブチルエーテル
(令和 7 年度以降、政令番号第 266 号 エチング[®]リコールモノノルマルブチルエーテル (別名ブチルセソルブ[®]))
- : 政令番号第 38 号 アンチモン及びその化合物
(令和 7 年度以降、政令番号第 5 号 アンチモン及びその化合物)
- : 政令番号第 136 号 キシレン
(令和 7 年度以降、政令番号第 426 号 キシレン)
- : 政令番号第 70 号 エチルベンゼン
(令和 7 年度以降、政令番号第 247 号 エチルベンゼン)
- : 政令番号第 603 号 モリブデン及びその化合物
(令和 7 年度以降、政令番号第 31 号 モリブデン及びその化合物)

なお、本書作成時の調査より、令和 7 年度、令和 8 年度以降追加となる安衛法ラベル表示・SDS 交付の義務化対象物質の含有は、以下記載の通りである。

- : 通知対象物質(令和 7 年度追加)
 - : 該当せず
- : リスクアセスメント物質(令和 7 年度追加)
 - : 該当せず
- : 通知対象物質(令和 8 年度追加)
 - : 該当せず
- : リスクアセスメント物質(令和 8 年度追加)
 - : 該当せず

：第二種指定化学物質	：管理番号第 791 号 ノナン
また、PRTR 法規制値未満だが、成分中に以下の PRTR 法規制物質を含む。	
：第一種指定化学物質	：管理番号第 31 号 アンチモン及びその化合物 0.75%
：第一種指定化学物質	：管理番号第 80 号 キシレン 0.70%
：第一種指定化学物質	：管理番号第 53 号 エチルベンゼン 0.30%
：第一種指定化学物質	：管理番号第 453 号 モリブデン及びその化合物 0.022%
：第一種指定化学物質	：管理番号第 594 号 エチングリコールモノブチルエーテル (別名ブチルセソルブ) 0.991%

16. その他の情報

本データシートに記載されている情報は弊社の知り得る限りにおいて正確ですが、保証するものではありません。
弊社は製品ラベル記載事項を守らない使用方法などによって受けた人的、物的損害に対して賠償責任を負いかね
ます。

参考文献：

1. 「製品安全データシートの作成指針」(社)日本化学工業協会, 2001
2. 「GHS 対応による混合物(化学物質)の MSDS 作成手法の研修テキスト」中央労働災害防止協会, 2006
3. 「GHS モデル MSDS 情報」中央労働災害防止協会, 2024
4. 「JIS Z7253:2019, GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」日本工業標準調査会, 2024
5. 「GHS 分類結果データベース」(独)製品評価技術基盤機構, 2024
6. 「ezCRIC+」日本ケミカルデータベース(株), 2024